



www.alpajapan.org

# 日乗連ニュース

## ALPA Japan NEWS

Date 2003.04.07

No 26 - 54

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770 FAX.03-5705-3274

E-mail:office@alpajapan.org

# SARS(重症急性呼吸器症候群)に関し 定期航空協会、厚生労働相、 国土交通相あて申し入れをしました

SARS(重症急性呼吸器症候群)については、全世界で患者数、死亡者数が激増しており、感染地域も更に広がりを見せています。報道によると4月2日現在で患者数は2,300人、死亡者は75人とされています。また、WHOでは中国広東省、香港への旅行の自粛を呼びかけるなど、日増しに深刻さを深めています。

私たち乗員はこれら感染地域に毎日乗務・宿泊しており、まさに最前線で感染しやすい環境に置かれているといっても過言ではありません。日乗連では流行の兆しが出始めたころから、各乗組を通じて航空会社に早急に調査し予防策を講ずるよう申し入れてきましたが、現在のところ、一部路線の減便や乗員へのマスク貸与等の対策が講じられたところはあるものの、原因も未だ不明でありまた確実な予防方法も確立されておらず、大きな不安を抱えたまま乗務しているのが現状です。

SARSについては緊急を要する重大な問題であることから、日乗連は渡航延期勧告が出されている国・地域への運航を当面見合わせる事、感染予防の具体的な方法等について至急対策を講じること等について定期航空協会、国土交通相、厚生労働相に対して航空連、安全会議と共同で申し入れました。さらに厚生労働相と定期航空協会に対しては『万が一感染した場合には労災扱いとすること』も合わせて申し入れました。

\* 定期航空協会、厚生労働相、国土交通相あて申し入れ文書を添付します。



2003年4月4日

定期航空協会  
会長 大橋 洋治 殿

航空安全推進連絡会議  
議長 大野 則行

航空労組連絡会  
議長 内田 妙子

日本乗員組合連絡会議  
議長 林田 幹男

### SARS（重症急性呼吸器症候群）に関する申し入れ

SARSが全世界的な規模で広がりを見せ、発症者・死亡者も激増しています。4月4日にはWHOに続き、外務省からも香港と中国広東省への不要不急の渡航を延期するよう勧告が出されました。

これらの感染地域では、多くの航空労働者が大きな不安を抱えながら日々勤務しているのが現状です。旅客・航空労働者の安全と健康を確保できるよう、航空経営として、以下の点について早急な対応をされますよう要請いたします。

### 記

1. SARSに関する新たな情報や、疑わしい運航が発生した場合などは遅滞なく正確に、直接現場労働者に伝えること。
2. 航空機内や伝播地域においてSARSに感染しないよう、マスク・手袋の着用や機内換気の工夫等、具体的な予防方法の指針を示すこと。
3. 渡航延期勧告が出されている国・地域への運航を当面の間見合わせる。また、滞在者の帰国等、緊急避難的な運航を行う場合は、労働組合と協議して実施すること。
4. 万が一罹患した場合は、労災とするよう会社として配慮すること。

以上

2003年4月4日

厚生労働大臣 坂口 力 殿

航空安全推進連絡会議  
議長 大野 則行

航空労組連絡会  
議長 内田 妙子

日本乗員組合連絡会議  
議長 林田 幹男

## SARS（重症急性呼吸器症候群）に関する申し入れ

SARSが全世界的な規模で広がりを見せ、発症者・死亡者も激増しています。4月4日にはWHOに続き、外務省からも香港と中国広東省への不要不急の渡航を延期するよう勧告が出されました。

これらの感染地域では、多くの航空労働者が大きな不安を抱えながら日々勤務しているのが現状です。旅客・航空労働者の安全と健康を確保し、SARSの日本での蔓延を防ぐため、以下の点について早急な対応をされますよう要請いたします。

### 記

1. SARSに関する新たな情報は遅滞なく正確に、航空会社に伝えること。
2. 航空会社や空港関連企業に対し、関連する職員の健康診断を実施するとともに、感染防止策を徹底するよう指導すること。
3. 渡航延期勧告が出されている国・地域へは、滞在者の帰国等、緊急避難的な運航以外の定期便の運航は、当面の間見合わせるよう指導すること。
4. 関連業務に就く航空労働者が罹患した場合は労災とすること。

以上

2003年4月4日

国土交通大臣 扇 千景 殿

航空安全推進連絡会議  
議長 大野 則行

航空労組連絡会  
議長 内田 妙子

日本乗員組合連絡会議  
議長 林田 幹男

## SARS（重症急性呼吸器症候群）に関する申し入れ

SARSが全世界的な規模で広がりを見せ、発症者・死亡者も激増しています。4月4日にはWHOに続き、外務省からも香港と中国広東省への不要不急の渡航を延期するよう勧告が出されました。

これらの感染地域では、多くの航空労働者が大きな不安を抱えながら日々勤務しているのが現状です。旅客・航空労働者の安全と健康を確保し、SARSの日本での蔓延を防ぐため、以下の点について早急な対応をされますよう要請いたします。

### 記

1. SARSに関する新たな情報は遅滞なく正確に、航空会社に伝えること。
2. 航空会社や空港関連企業に対し、関連する職員の健康診断を実施するとともに、感染防止策を徹底するよう指導すること。
3. 渡航延期勧告が出されている国・地域へは、滞在者の帰国等、緊急避難的な運航以外の定期便の運航は、当面の間見合わせるよう指導すること。

以上